

2013 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 2 回議事録

日 時 : 2013 年 6 月 17 日(月)14 時～16 時 40 分
場 所 : 名古屋芸術大学 東キャンパス
出席者 : 立野(名古屋芸術)、太田(名古屋芸術)、伏見(名古屋経済)、八鳥(名古屋外国語)
広田(中部)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椋山女学園)、
水谷(東海学園)、松原(中部学院)、石田(南山)、柴野(名古屋商科)、
中田(名古屋学院)、山田(名古屋学院)、(中村(名古屋芸術:主幹事校 事務担当))
欠席 : 小木曾(愛知) 敬称略

報告

中田委員長より、5 月 24 日(金)総会について報告があった。

- ①2013 年度事業計画案および予算案が原案通り承認された。
- ②『館灯』について、電子化・送付部数希望調査・加盟館員名簿作成等の意見が出されたので運営委員会で検討して欲しい。
- ③東海地区協議会のアドレスおよびメーリングリストが他地区に比べてかなり多い。
研究会が使用している“tokai-kenkyu”は削除し、今後外部からの問い合わせ等は理事校が一括して受けることとする。

議題

1. 第 1 回研究会について

太田委員より出欠状況が報告され、参加者が予想より多いため、講演会の会場を変更したいとの申し入れがあり了承した。

①ワークショップについて

天野委員より再度概要説明があり、それを受けて前回懸案事項となった件について協議した結果、下記の通りとした。

- ・より学生に近い状態で実施するという意図から、事前に具体的な実施内容を通知しない。
- ・各自自分が興味のある事項を選ぶ方がスムーズにこなせるので、テーマは設定しない。

また、机の並べ方、席順について意見を聞き、配置を決定、座席指定のための番号札を準備することとなった。

②その他

当日の各担当の業務と準備事項について最終確認を行った。

- ・会場設営、配布資料準備については会場校の名古屋芸術大学担当者ができるだけ前日までに済ませておく。
- ・配布物の準備に関連して、講演会資料は中田委員長が、ワークショップ資料は天野委員がそれぞれ 6 月 28 日までに名古屋芸術大学に送付する。

- ・講演会講師の杉谷先生への確認と連絡を中田委員長が行う。内容は以下の通り。
 - 使用する Power Point のバージョン、インターネット利用の有無、意見交換会の出欠、当日の会場入りの交通手段とスケジュール
- ・名鉄「徳重・名古屋芸大駅」改札を出たところに案内看板を用意する。
- ・当日の運営委員の集合時間は9時30分とする。

2. 第2回研究会について

①ワークショップについて

天野委員より5~6名1グループで実施する予定であるとの説明があった。また、第1回研究会参加者の割合により、内容の変更を考えているとのことであった。

申し込み時に図書館業務の経験年数を記入してもらい、それによって事前にグループ分けして座席を指定する。

②事例セッションについて

「学習支援につなげようセッション」として、学習支援の事例について各大学1つに絞って発表する。A4サイズの統一フォーマットに記入してデータで会場校の名古屋学院大宛に提出、名古屋学院大にてA3サイズに拡大印刷して展示する。パンフレット等の資料や写真は別途持参または送付して展示する。

統一フォーマットの作成は柴野委員が担当する。

③開催案内について

名古屋芸術大学において作成し、7月上旬に発送する。

④その他

- ・会場の詳細は決定次第、中田委員長より名古屋芸術大学に連絡する。
- ・当日の昼食は学内食堂を利用する。

3. 見学会について

伏見委員より、資料に基づき説明があり、検討を行った。

①開催案内について

千葉大からの要望もあり見学者を30名としているため、初めから各大学の定員を設けた方がよいか協議した結果、申し込み状況を見て調整することにして、特に定員を明記しないとした。その他案内文の修正を行い、中田委員長が内容確認後千葉大宛に送付、了承を得てから7月1日に発送、7月31日締め切りとする。

②報告について

研究会終了後の開催となるため、報告は『館灯』掲載をもって行う。原稿は見学会担当者が作成する。写真について、撮影および『館灯』掲載の可否を中田委員長が千葉大に確認する。

4. アンケートについて

八鳥委員より、提案と説明があった。学習支援に関する事例集となるような形式で実施する。第2回研究会(9月18日)後送付、10月後半締め切りとし、『館灯』掲載をもって結果報告とする。

例年と時期が異なるため、7月中に内容とスケジュールを、アンケート実施に先立って送付する。

5. ウェブサイトについて

石田委員より、東海地区協議会ウェブページの見直しについて提案と説明があった。データの重複をなくし、閲覧時のスクロールを減らすという目的で、2012年度のページからリニューアルする。

また、『館灯』37号以前のインデックスデータの、CiNiiへの遡及登録を開始する。

6. その他

①『館灯』電子化について

- ・ネット公開不可の講演等もあるため、冊子を廃止するのは難しい。また、冊子が発行されていないと世間的には雑誌として残っていない状態とされてしまう可能性がある。
- ・資料の保全として電子的に保管(CD-ROM等)する必要はあるのではないか。
- ・加盟館のみ閲覧できるページでの公開なら可能ではないか。

②『館灯』送付冊数調査について

- ・一律でなくても、基本1冊で役員校はプラス1冊等、新たに基準を決める。
- ・一度希望調査を試してみるのも有り。

③加盟館員名簿について

- ・何のために必要か今一つわからない。不要だと思う。

『館灯』に関しては、上記を運営委員会の意見として理事校に伝えることとする。

④実務担当者研修会について

これまで宿泊研修として開催してきたが、より参加しやすくするためにも日帰りでの開催も検討してみたらどうかという意見が複数出され、今後の課題とした。

次回、第3回運営委員会は、7月23日(火)14時30分から、名古屋商科大学日進キャンパス中央情報センターにて開催する。また各担当者会議についても必要に応じて行う。

以上

記録者：山田